

令和元年度 第2回朝倉市総合教育会議

日 時 : 令和2年2月10日(月) 14:00~15:05

場 所 : 朝倉市役所別館第2会議室

出席者 : 構成員 林市長、宮崎教育長、小川教育委員、井手教育委員、
内藤教育委員、鹿毛教育委員
教育部 山南教育部長、池田教育課長、浦塚文化・生涯学習課長、
山見教育課主幹参事、中村教育課総務係長
関係課 田中保健福祉部長
平田福祉事務所長
上村子ども未来課長
事務局 石井総務部長、則松総合政策課長、
柳瀬男女共同参画推進・青少年係長
坂口男女共同参画推進・青少年係
傍聴者 0名

1 開会

2 市長あいさつ

3 議題

(1) 地域と連携した教育について

(2) 教育支援の充実について

(3) 次年度朝倉市教育施策要綱(案)について

4 その他(事務連絡)

5 閉会

市長	<p>市長あいさつ</p> <p>本日は、お忙しいところ、教育長をはじめ、教育委員会委員の皆様におかれましては、令和元年度第2回朝倉市総合教育会議にご出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>また、皆様には平素から、本市の教育行政にご尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。</p> <p>この総合教育会議においては、教育委員会と市長である私が対等な執行機関として、意見交換・調整を行うことにより、教育の課題やあるべき姿を共有してまいります。本日の会議では三つの議題の審議を賜りたいので、宜しくお願いします。</p> <p>総合教育会議が、市の教育行政のさらなる充実・発展に寄与することを期待いたしますとともに、教育委員会の皆様には、この会議を含め、今後とも、市の教育行政のためにお力添えを賜りますようお願い申し上げます、はなはだ簡単ではございますが、開会に際しましてのあいさつとさせていただきます。</p>
総合政策課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議題に入ります。これからは朝倉市総合教育会議設置要領第3条第1項に基づきまして林市長に、議長として進めていただきます。どうぞよろしく願いいたします。</p>

【議事概要】

(1) 地域と連携した教育について

発言者	意見・考え等
市長	<p>それではさっそく議題に入ります。</p> <p>次第「3 議題」にあります順に、協議を行ってまいりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>(1)の「地域と連携した教育について」を議題といたします。教育課から資料の説明をお願いします。</p>
教育課	<p>山見主幹参事説明</p>

市長	「地域と連携した教育について」、説明がありました。ご意見、ご質問等ありましたら、お願いします。
小川委員	<p>学校と家庭だけでは教育は難しいです。地域全体で子どもたちを育てていかなければいけません。今まである組織（おらが学校委員会等）が上手くコミュニティスクールへ移行するよう慎重にした方が良いと思います。仕組みができることにより学校運営がやりにくくなってはいけません。そういうことが無いようスムーズな移行ができるような取組をしていきたいと思っています。</p> <p>私たちも教育委員として、地域の住民としてできることはやっていきます。人生 100 年時代と言いますが、たくさんの人生経験を持つ人材が豊富であるので、その人材を学校運営に生かすことができれば良いと思います。この仕組みは良いと思います。</p>
井手委員	コミュニティスクールの取組は、朝倉市としては以前からやっていると思います。それらを充実させるためには、小規模校の方がやりやすいと思います。市は小規模校が多いので、スムーズに行くのではないのでしょうか。
内藤委員	<p>私も井手委員と同じ意見です。十分に下地があると思います。</p> <p>南陵中学校区は、蜷城、福田、馬田それぞれの地域の文化を 17 年間中学校 1 年生に教えています。蜷城は獅子舞、福田は能楽、馬田は太鼓、読み聞かせ（物語）をやっています。9、10 月は 13:25～16:00 まで 10 日間もしています。休みを取って 1 週間に 1 度 10 日間来ているから、獅子舞は指導する人が大変です。最後は P ポートで発表します。</p> <p>日頃学校の先生以外の地域の人たちが学校に入ってきて指導するのは、なかなか難しいです。違う指導方法をとるので、子どもたちは真剣に一生懸命にやっています。下地は各地区あると思います。これに関してはスムーズに移行できると思います。</p>
鹿毛委員	一保護者として、地域の方と一緒に子育てをできると大変ありがたいですし、孤立している家庭もかなり助けられると思います。ぜひコミュニティスクールが上手く回っていくと良いと思います。
林市長	行政の方から何かありますか。

教育課長	<p>コミュニティスクールへの移行は要請されているものです。委員さんが仰いましたように、スムーズに行くよう努力していくことが大切だと考えています。</p>
子ども未来課長	<p>今年度から子ども子育て支援事業計画を策定しようとしています。その中で地域との連携、学校との連携について謳っています。ぜひこのような取組を進めて私たちの計画と適合すると良いものになると思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。</p>
小川委員	<p>先日、小中学校の運営研修会（校長・教頭先生が集まり研究を発表する場所）がありました。各校の発表内容が地域との連携を基本に持って考えていらっしゃいました。コミュニティスクールに名前が変わると最初は構えてしまうかもしれませんが、流れが非常に良いかと思います。</p>
内藤委員	<p>高校生が（朝倉東高校、朝倉光陽高校等）いろんな所で行政、地域おこしに協力してくれています。いろんな地域の食材を活かして製品を作ろうとか、秋月をどうしたらよいか、町おこしについていろんな意見を出してくれています。心強い事です。</p> <p>個人的な経験ですが、50年前に福岡少年赤十字の活動で県内の小中高校生男女各1名の代表に選ばれました。代表6名で1週間東京に行かせていただき、ものすごい経験をさせていただきました。小学6年生が高校生と1週間過ごすことは良い経験で、なかなかそのような機会は与えられません。地域と共に小中高を抱き込んで何かやれたらよいのではという気持ちがあります。特に朝倉高校の校長先生は地元出身だから在任中に総合政策課で何か施策ができたかと思っています。</p>
井手委員	<p>杷木校区でPTAの連合協議会が現在あります。保育所・小・中・高（光陽高校）のPTA役員、教員が集まり意見交換がなされています。そういう取組が市全体でやればと思います。</p>
保健福祉部長	<p>国が地域共生社会を進めております。これからは地域で共生してやることが重要な時代となっています。子育てに限らず障がい者、高齢者が高齢になっても地域で住み続けることができる社会を目指すために地域の支え合い体制づくりが重要です。介護サービスでも高齢者の生活体制整備事業を進めています。</p> <p>また、福祉事務所管轄になると思いますが、地域福祉計画を作っていない</p>

	<p>といけません。今は努力義務ですが今後は義務化されるかもしれません。今後はコミュニティの力、地域で支えあう社会を市全体で目指していかなくてはいけない重要な課題となっています。</p> <p>学校教育に限らず防災面においても地域共生力、支え合いの力、コミュニティ力が大切です。これから地域共生社会に関する議論が必要になっていきます。</p>
市長	<p>総合政策課で現在の高等学校と地域をもう少し連携を深くしてやっていくテーマが1つ大きく出ています。その辺りは説明できますか。</p>
総務部長	<p>今年9回目の高校生の提言を開催させていただきました。初回はいろんな妙案を高校生自らこんな風に変えたらいいんじゃないかと、朝倉市のテーマを絞り出していただいていたいました。令和2年度は10回目を迎えます。行政と地元高校生との橋渡し、いろんな提案ができる場という取組の例の1つと認識しています。</p> <p>また、総合計画の中でおらが学校を年3回以上実施すると掲載しています。これがコミュニティスクールに移管すれば教育現場の環境が充実するだろうという認識です。引き続き見守っていきます。</p>
市長	<p>国から地域に有為な人材を高校教育、活動の中で培っていくという方針が1つ新たに大きく出ています。具体的には、今年度は朝倉東高等学校が地域のことについて勉強したいという要望があり、総合政策課の職員が東高へ出かけて行き説明したり質問を受けたりしています。</p>
総合政策課長	<p>内藤委員が仰ったのは小・中・高の子どもたち同士のふれあいが何か新しいかたちで実現できないかという提案だったと認識します。</p> <p>井手委員が仰ったのは保育所から高校までの保護者同士で連携が行われており、それも1つキーワードになっているんじゃないかという提案だったと思います。</p> <p>まち・ひと・しごとの考え方で国から自治体に求められているのは、自治体と高校、そして教育委員会と連携を深めるということです。朝倉東高から「高校1年生を対象として今朝倉市が抱えている課題は何か、方向性はどのようなかまず教えてください」という要望がありました。そのため、市職員が出向き2時間くらい講演をさせていただきました。そして彼ら自身が1つ1つテーマを絞って班研究し、2月末頃に発表会が催される予定です。それも深めながら、子どもたち同士のふれあい、保護者同士の連携についても何か行政</p>

	<p>として考えていかなければなりません。ご意見を参考にさせていただきたいと思えます。</p>
小川委員	<p>高校に限らず学校が地域ボランティアに協力的で、事業をやる時はボランティアをお願いできます。どこの学校もとても協力的にしてもらっています。例えば、百人一首の大会をすると、うきはの究真館高校、工業高校からボランティアに来てもらうくらいです。内藤委員が言われるように、中学校・高校の垣根を切って学校内の授業ではなく世代を超えた交流のできる1つ社会に出た授業を行えば、非常に良い方向に向かっていくのではないのでしょうか。</p> <p>災害があったことにより、ここらに対する子どもたちの意識も高まっていると思うんです。学校の対応としても、非常にボランティアに対して協力的に進めてもらっています。</p>
市長	<p>私はこれまで朝倉の教育委員会、学校あるいは家庭、地域が培ってきた教育力をさらに深めていただきたいと思います。</p> <p>総合計画の話が出ましたが、策定中の総合戦略の中でも子育て・教育は大きな柱ですし、朝倉の魅力の1つということでやっていくべきだと考えています。よろしくお願いします。</p>

(2) 教育支援の充実について

発言者	意見・考え等
市長	<p>次の議題にまいります。</p> <p>(2)「教育支援の充実について」を議題といたします。</p> <p>では、教育課より説明をお願いします。</p>
教育課	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">山見主幹参事説明</div>
市長	<p>「教育支援の充実について」、説明がありました。</p> <p>ご意見、ご質問等ありましたら、お願いします。</p>
小川委員	<p>小学校を学校訪問で回ると特別支援学級が各学校で開設してあり、障がい児童に対してマンツーマンに近いかたちで非常に細かい教育がされています。多い所では2クラス、3クラスあり素晴らしいと思えますが、やはり</p>

	<p>支援員の数が不足し十分な支援ができないことも考えられます。今から特別支援学級の授業の需要が高まると思われるので、費用が一番の懸念だと思いますが、支援員の数を増やす手当をしていただくと特別支援学級が非常に充実すると思っています。</p>
井手委員	<p>不登校について何とかしようと取り組んでいますが、限界があり非常に難しい問題があります。例えば、時間を見つけて不登校児童・生徒の家に行ってみて様子を聞くと、まだ子どもが登校していないのに朝早くから両親は仕事に出かけている、だから学校に行っているかいないか把握していない、家庭は様々ですよね。連れて行こうとしても基本的に車に生徒は乗せられません。それから、不登校は家庭と関係があります。私の経験で、兄弟そろって不登校の家庭がたくさんありました。学校現場ではどうしようもないところがあります。</p> <p>学校現場に自由に動ける立場の指導者がいてくれると、かなり助かるんじゃないかという気がします。朝倉市も何人か雇用されており、目一杯活動されていると思うが足りません。増やすためには資金が要ります。</p>
鹿毛委員	<p>私も支援員で働いていますが、子どもが1日に学習するのは6時間目までに対し、支援員の就労時間が1日3時間の区切りはあまりにも短いです。立石小の支援員は4人と書いていますが、そのうちの2人は学童保育指導員が占めています。そのため、支援を必要としている子どもがたくさんいるけれど、彼らが支援学級に入る時間が限られているのが実際です。特に低学年は必要な基礎学習が支援員と一緒にいたら分かるのにもかかわらず、人が足りないがために遅れてしまっています。そのような子どもたちがたくさんいるので、彼らを救ってあげたいといつも感じています。</p>
市長	<p>3時間というのは決まっているのですか。</p>
教育課長	<p>1日3時間というのは、200日の就業日数を確保するのに必要な予算上の問題です。特に規定があるわけではありません。</p>
市長	<p>先進事例というのは何かありますか。</p>
教育長	<p>支援員そのものは、朝倉市が遅れているということはありません。</p> <p>ただ3時間で区切るわけですが、連続した3時間というわけではありません。特に必要な時間帯に組んでいるというのが現状です。間の空いた時間は、結局時間的に拘束されています。こうすると良くなるという要望は上</p>

	<p>がってきています。</p> <p>コミュニティスクールが進んで、児童が放課後学習で過ごすことを考えています。</p> <p>私自身が夢のようなことを思っています。それは学校に地域の方が出てきて教えるのだけでなく一緒に学んでいただく、一緒に学びながら子どもたちが大人の学ぶ姿を見て勉強していく、年配者の知恵を教えていただく、大人も人生をもっと豊かにする活動につながっていくことです。大人がいることで支援も可能になっていくと思います。</p>
井手委員	<p>そうなれば良いと私も思います。</p>
教育長	<p>これからの学校というものは、子どもたちだけでなく地域の教育力を高める施設として、地域の方がどんどん使う在り方に変えていったらよいと思います。</p>
こども未来課長	<p>前回は触れたかもしれませんが、要保護児童対策地域協議会というものがあり、何かありましたら学校の先生方と連携して対応しています。</p> <p>それから、私共の方に家庭児童母子相談員が3名いらっしゃいます。家庭の様々な課題について子育てに関する悩みは学校と連携して相談に乗る仕組みをとっています。相談員については今後充実を図ろうと考えています。期待をしていただきたいと思います。</p>
市長	<p>非常に頑張っている点と要望の理解をさせていただきました。朝倉市の学校が支援を必要とする児童・生徒たちに有効になるように協議を教育委員会とさせていただきたいと思います。</p>

(3) 次年度朝倉市教育施策要綱（案）について

発言者	意見・考え等
市長	<p>(3)の「次年度朝倉市教育施策要綱（案）」を議題といたします。</p> <p>では、教育課より資料の説明をお願いします。</p>
教育課	<p style="text-align: center;">山見主幹参事説明</p>

市長	<p>「次年度朝倉市教育施策要綱（案）」、説明がありました。 ご意見、ご質問等ありましたら、お願いします。</p>
市長	<p>スマホの使用は何時間までといった取り決め等、スマホの自己管理についていつも話題になりますが、どんな指導を子どもたちに行っているんですか。</p>
教育課 主幹参事	<p>現在学校へスマホの所持率（そのスマホが自分のものか親のものか）や1日の使用時間等アンケート調査を行っています。各学校で全国平均と比較し、校長先生が学校通信で出しています。</p> <p>また、家庭教育週間を設けまして各学校においてメディアの時間は何時間にしよう、ここは勉強学習時間にしようとか小・中連携しながら取り組んでいます。</p>
内藤委員	<p>大阪不明女児が関東で保護された事件があった頃より調査を開始しています。結果が出たら、皆で考えたいと思います。</p> <p>1人1台パソコンを持ちながら授業をする時代で、教育委員会もどういうシステムで行こうか考えています。非常に難しい時代です。タブレットを1個ずつ持つ時代をふまえ、道徳、倫理観を教えながらやっていかなくてはなりません。新しい問題も出てきます。</p> <p>コミュニティスクールに話は戻りますが、不登校の問題について民生委員の方が地域で不登校児をフォローしていらっしゃいます。この会議に民生委員の方が出席してもいいのではないかと考えています。</p>
小川委員	<p>スマホ、タブレット、パソコンの境目がだんだん無くなっていきます。子どもを守るために道徳教育が必要です。取り上げれば良いところまで取り上げてしまいます。悪いところ（ゲーム依存症や詐欺）から身を守る方法を教える方法を研究し、子どもたちが被害に遭わないようにしないとけません。一方で時代の先端に行く技術は身に着けさせた方が良いと思います。</p>
内藤委員	<p>中学校の評議員をしている中での気づきですが、可哀想なんだけどこういう状況だから持たせないというのは分かりますけど、なんとなくいろんな思いがしました。ほとんどがケータイを持っていますが、持っていない子がいるんだよということを教える等、いろいろ考えていかなければと思</p>

	ます。
小川委員	子どもが欲しがるのは仕方ないですものね。私の家では母が 88 になりますがそれでもスマホにしようかと興味があるくらいですから、年頃の子どもはどうしても欲しくなります。
市長	学力テスト、体力テスト等色々ありますが、朝倉市の学校の特徴的なところはありますか。
教育課 主幹参事	<p>学力につきましては小学校が全国平均より高く、特に国語が+3.2 ポイント、算数が-0.6 ポイントです。中学校は国語が全国平均より-2.8 ポイント、数学が-0.8 ポイントです。</p> <p>今年度から学力テストが新しくなったため、比較は難しいです。</p> <p>体力に関しましては小・中ともに全国より大きく上回っています。本年度につきましては、中学女子だけ全国より少し下回っています。</p>
教育長	表の右、「健やかな体」のところの点検項目に 50m 走と書いていますが、今回の体力テストでは比較的伸びていませんでした。50m 走に焦点をあてて、ここを向上させるための指導法をしないといけません。毎年課題が変わってきますので、取り組むと次の年度はクリアしています。50m 走が今回の課題です。
市長	<p>以上で「次年度朝倉市教育施策要綱（案）」の協議を終わります。</p> <p>本日の議題が終わりました。以上で、議長としての進行を終わります。ご協力ありがとうございました。</p>